

現在の景気：県内景気は、新型コロナウイルスの感染が次第に落ち着くなかで、全体として持ち直しの動きが続いている。3 月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、観光や飲食等の対面サービス業種が明確に回復しつつあるほか、百貨店の季節物衣料などの販売も上向いている。製造業では、コスト高の影響がみられるが、世界貿易回復などに支えられた改善基調を概ね維持している。この間、建設需要も、交通インフラ整備や物流施設などの官民プロジェクトの進展や都市部を中心とした堅調な住宅ニーズなどを背景に、底堅く推移している。

3 か月程度の見通し：感染の拡大抑制を前提に個人消費は当面持ち直しが続くと思われる。製造業では標準シナリオでは改善基調が維持される見込みだが、ウクライナ情勢長期化によるエネルギー価格の上昇など、世界貿易の下振れリスクを十分に注視する必要がある。この間、中国では感染沈静化に伴って、一部都市における行動制限が緩和されつつあるが、経済再開のテンポはなお不透明な面が残り、今後の経過を見守ることが重要となる。

個人消費：①上向き。②4 月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比 8.5%増と 6 か月連続で前年を上回った（2019 年比は 11.8%減）。外出機会の増加や天候与件などから、春夏商材の動きが目立った。大型連休後半の盛況など、5 月入り後も順調。4 月の自動車登録台数は同 16.6%減と、10 か月連続で前年を下回った（2019 年比は 23.9%減）。半導体や部品の供給不足などによる減産の影響で、一般乗用車（前年同月比 18.3%減）、軽乗用車（同 14.9%減）ともに前年を下回った。

住宅建築：①増加基調。②4 月の新設住宅着工戸数は前年同月比 1.1%増加し、2 か月ぶりに前年を上回った。持家（同 11.4%減）、分譲（同 0.6%減）は減少したが、貸家（同 12.6%増）が増加した。

設備投資：①増加基調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、4 月の工事床面積は前年同月比 5.1%減少したが、工事予定額は同 2.4%増加した。千葉経済センターによる県内企業 179 社アンケート調査（4 月実施）では、22 年度の期初計画は、21 年度実績額を 89.3%上回っている。

公共工事：①増加。②4 月の県内公共工事請負額は、前年同月比 45.8%増加した。国（同 2.6%減）は減少したが、独立行政法人（同 120.0%増）および市区町村（同 63.1%増）、県（同 14.9%増）は増加した。

輸出：①増加。②4 月の成田、千葉、木更津 3 港合計通関輸出額は、前年同月比 26.7%増と 14 か月連続で増加した（2019 年比は 57.1%増）。成田空港では、半導体等製造装置（前年同月比 10.7%増）や科学光学機器（同 23.7%増）を中心に、同 24.5%増と 14 か月連続で前年を上回り、輸入額とともに 4 月としては過去最高となった。千葉港は、石油製品（同 747.1%増）や鉄鋼（同 19.6%増）などの増加により、同 70.9%増と 12 か月連続で前年を上回った。木更津港は、鉄鋼（同 36.4%増）などの増加により、同 26.2%増と 13 か月連続で前年を上回った。

生産活動：①足踏み。②3 月の県鉱工業生産指数（季調済）は、90.4（前月比 1.1%増加）と 6 か月ぶりに増加した。化学工業（同 3.9%低下）、石油・石炭製品工業（同 10.8%低下）などが低下したが、電気・情報通信機械工業（同 21.6%増加）、食料品工業（同 10.7%増加）などが増加した。

観光：①持ち直し。②観光・宿泊施設の入り込みは個人客を中心に持ち直しつつある。3 年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークは、観光地や商業施設などで賑わいがみられた。観光需要の喚起継続のため、旅行・宿泊優待事業「千葉とく旅キャンペーン」の 6 月末までの期間延長（当初は 4 月 28 日まで）が発表された。

雇用情勢：①回復基調。②4 月の有効求人倍率（季調値）は、前月比 0.04 ポイント上昇の 0.94 倍と、4 か月連続で上昇した。有効求職者数（同 1.8%減）が減少する一方、有効求人数（同 1.6%増）は増加した。

【トピックス】

- 京葉ガス㈱と大多喜ガス㈱は、富津市（LNG 基地）と市原市（火力発電所）を結ぶ液化天然ガス用パイプライン「なのはなパイプライン」が完成したことを発表した（5 月 20 日）。6 月からの稼働を予定している。
- 成田空港を中核とした県内経済の活性化を目指す官民一体組織である「成田空港活用協議会」が、活動期間を 2032 年度まで 10 年間延長することを決定した（5 月 23 日）。
- 成田市で外国人観光客の受け入れ再開に向けた観光ツアー実証事業が行われた（5 月 30 日）。